

研究機関：広島大学

【ヒトゲノム・遺伝子解析研究】

研究課題名	「初発膠芽腫に対する放射線療法併用テモソロミド、ベバシズマブ療法および増悪または再発後のベバシズマブ継続投与の有効性と安全性を検討する第Ⅱ相臨床試験」における付随研究
研究責任者名	大学院医歯薬保健学研究科脳神経外科学 教授 栗栖 薫
研究期間	2015年 8月(倫理委員会承認後)～ 2019年 3月
対象者	本研究について説明を受け、同意をされた患者、及び、比較として、過去10年以内に、広島大学病院脳神経外科で初発膠芽腫の摘出手術を受け、病理検体が保存されている患者。
意義・目的	<p>初発膠芽腫に対するベバシズマブの無増悪生存期間の延長については一定の見解が得られていないことから、ベバシズマブの治療効果判定・予後予測因子となりうるバイオマーカーを探索することを目的としています。本付随研究から得られた結果は、将来の膠芽腫治療における個別化治療の推進と治療成績の向上につながることを期待されます。</p> <p>バイオマーカーとは、身体の中の生物学的な変化を定量的に把握するための指標のことで、主に「遺伝子」と「タンパク質」に分類されます。このバイオマーカーの量を測定することにより、治療効果や副作用などの反応を予測することができる可能性があります。</p>
方法	<p>本研究は、手術の際に摘出された腫瘍組織の一部を用いて行います。</p> <p>試料・情報等は名前などがわからないようにした上で、国立がん研究センターへ郵送で提供し、国立がん研究センター 脳腫瘍連携研究分野（研究責任者 市村 幸一）で遺伝子発現解析などを行います。</p>
共同研究機関	別紙参照
試料・情報の管理責任者	市村 幸一 国立研究開発法人 国立がん研究センター 脳腫瘍連携研究分野
個人情報の保護について	<p>本研究は広島大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています。研究は、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合は以下の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院 脳神経外科 職名 講師 山崎 文之 Tel : 082-257-5227 E-mail: fyama@hiroshima-u.ac.jp</p>